



進級して約2ヶ月が経ち、そら組・うみ組の子どもたちは、新しいクラスでの生活にも慣れてきました。進級当初は、好きな遊びの中で4歳児の頃に楽しんできた遊びをする姿が多く見られましたが、生活に慣れてくると、進級して新しく使えるようになった遊具や場所を使ったり、年長になって同じクラスになった友達と関わったりしながら遊ぶ姿も見られるようになってきました。これから遊びの幅を広げながら、友達と一緒に様々な経験を重ねていけるようにしていきます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

- 1 健康な心と体
- 2 自立心
- 3 協同性
- 4 道徳性・規範意識の芽生え
- 5 社会生活との関わり
- 6 思考力の芽生え
- 7 自然との関わり・生命尊重
- 8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 9 言葉による伝え合い
- 10 豊かな感性と表現

幼児期の終わり、すなわち小学校入学までに育ってほしい姿や力を見る視点を示したものです。

(幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されています。)

日々の保育の様子や子どもたちの姿を『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』の10の視点からも見ていきます。

自然に親しんでいます

きぬさやを収穫し給食で味わったり、夏野菜の苗を植えて毎日水やりをしたりしながら、大きくなることを楽しみに育てています。また、飼育していたオタマジャクシは、足が生えたことの発見や、少しずつカエルへ変化していく過程を喜び、友達や保育者に伝える姿が見られました。そら豆は、皮の中のふわふわした感触を楽しんだり、顕微鏡で拡大して皮や中の豆を見たりしました。そのことをきっかけに、園庭にいるダンゴムシやアリなどの虫や、草花なども、大きくしてみたらどのように見えるのか興味をもち、自然への関心を向けています。今後も、様々な虫と触れ合ったり、植物を育てたりしながら、自然と親しむ中で「なんでだろう?」「不思議!」「面白い!」と感じる気持ちを大切に、発見する喜びにつなげていきたいと思えます。

オタマジャクシに足が生えてきたよ！



楽しんでる中で、気づきや発見を、友達や保育者に伝える。

9 言葉による伝え合い

10 豊かな感性と表現

もうすぐカエルになりそう

きぬさやがたくさんできた！



身近な生き物に対する親しみや成長への期待を感じている。

7 自然との関わり・生命尊重



だんごむしに模様が見える！

下から見るとどうなっているのかな？

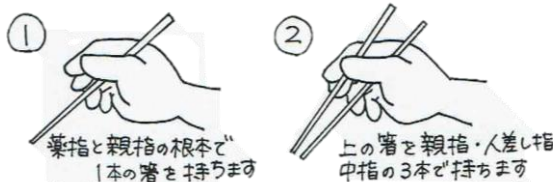
栽培物の生長を喜び、見たり触れたりする中で、発見する。

7 自然との関わり・生命尊重

今後について

〇箸に挑戦していきます。

給食では、お盆を使っての配膳にも慣れ、子どもたちは進んで支度を行っています。今後は、できるだけ箸を使って食事ができるように、最初の数口は箸で食べてみるよう指導をしていきます。最初は難しくても、少しずつ箸に慣れていけるように体験を重ねていきたいと思っています。箸の持ち方は鉛筆の持ち方につながります。ご家庭でも、箸の持ち方を確認したり、箸でつまみやすいものから挑戦したりしてみてください。



中指と人差し指で上の箸を動かします。

〇昼食後の歯磨きが始まります。

6月8日（月）より、昼食後の歯磨きを始めます。

歯ブラシと、自分で付け外しのできる歯ブラシキャップ（シンプルなもの）、歯ブラシを入れる袋（布製、ジッパー付ビニール袋など、素材は何でも可）の準備をお願いします。全てに必ず記名し、袋に入れた歯ブラシを、リュックに入れて毎日持ってきてください。帰宅後に洗って乾かし、清潔に保つようにしてください。歯磨き粉は不要です。

おたんじょうび おめでとう！

<そら組>

<うみ組>

5月生まれのおともだち

